

## (様式6)

## 公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(平成25年09月09日)

事業コード	H25-建-新-06			区 分	○ 国庫補助 ● 県単独
事業名	県単砂防事業			部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防堰堤工・溪流保全工			班 名	砂防・防災班 (tel) 018-860-2519
路線名等	栴沢沢			担当課長名	河川砂防課長 齋藤 春美
箇所名	大館市餌釣字栴沢			担当者名	副主幹(兼) 班長 鈴木 護
総合計画との関連	政策コード	11	政 策 名	生活基盤の整備	
	施策コード	02	施 策 名	災害に強い県土づくりと社会資本の長寿命化	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	土砂災害防止施設、河川、海岸の整備	

## 1. 事業の概要

事業期間	H26 ~ H31 ( 6 年)		総事業費	2.5 億円	国庫補助率	-		
事業規模	○砂防堰堤 1 基 (H=12.5m L=57.0m) ○溪流保全工 L=50.0m							
事業の立案に至る背景	<p>当溪流は、大館市餌釣栴沢地区に位置し、保全対象として人家6戸、国道103号、市道(避難路)等を抱える土石流危険溪流である。平成23年8月17日の集中豪雨により、流域内では山腹崩壊と溪岸侵食が進行し、市道や住宅に土砂流出する被害が発生した。</p> <p>流域内は荒廃していて未だ不安定土砂が堆積しており、豪雨等が発生した場合には土石流化して人家・市道等に甚大な被害が発生する恐れがある。</p> <p>このような土砂災害から砂防施設をもって人命・財産を保全するため、新規事業箇所として要望するものである。</p>							
事業目的	<p>【主たる目的】</p> <p>○土石流を砂防堰堤で捕捉することで下流域の人家を保全し、住民の生命・財産を守り、安全・安心な地域を創出する。</p> <p>【保全対象】</p> <p>○人家6戸 ○国道L=50m ○市道(避難路) L=370m</p>							
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度以降	
	事業費		244,000	25,000	7,000	72,000	140,000	
	経費内訳	工事費	212,000		2,000	70,000	140,000	
		用補費	7,000		5,000	2,000		
		その他	25,000	25,000				
	財源内訳	国庫補助						
		県 債		244,000	25,000	7,000	72,000	140,000
その他								
一般財源								
事業内容		本工事 詳細設計 地形測量 用地補償	地形測量 詳細設計 用地測量	工事用道路工 用地補償	砂防堰堤工 用地補償	砂防堰堤工 溪流保全工		
調査経緯	平成24年度 県単砂防事業 砂防流域調査業務							
上位計画での位置付け	「ふるさと秋田元気創造プラン」において、5つの戦略を支える横断的な取り組みの(4)社会資本整備の推進の中に、「水害・土砂災害への対応力強化」が位置付けられている。							
関連プロジェクト等	特になし							
事業を取り巻く情勢の変化	平成21年7月に発生した山口県防府市の土石流災害(死者14名)にあるように、ハード・ソフト一体となった砂防施設整備が急務となっている。 当流域では、上流部において土砂崩落が発生しており、土石流災害発生の危険度が非常に高い。							
事業効率把握の手法	指 標 名	土砂災害危険箇所整備率						
	指 標 式	概成箇所数/危険箇所数						
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無				
	目 標 値 a	24 %	データ等の出典	危険箇所調査結果				
	達 成 値 b	24 %						
達成率 b/a	97 %	把握の時期	平成25年 3月					

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	○土石流が発生した場合、流域直下にある人家・市道が被災し、人命や財産に直接的な被害が出る恐れがあるため、事業の必要性は高い。 ○土砂流出被害が発生した溪流であり、再度災害の防止に関する住民のニーズは非常に高い。 ○砂防法第5条により、工事の施行は都道府県が行うものと位置付けられている。	20 点
緊 急 性	○流域内は斜面勾配が急で、山腹崩壊等により発生した崩落土砂が溪床に堆積しており、倒木も多く見られる。 ○平成23年度の土砂流出被害から時間経過が少なく、土砂や倒木は未だ不安定で豪雨等により土石流化する恐れがあることから、早急な整備が必要である。	31 点
有 効 性	○砂防施設の整備により、土砂災害から人命・財産を守ることができ、また避難路の確保ができることから、下流域の安全性が短期間で獲得できる。 ○土石流危険溪流の整備率向上に直接寄与する事業であり、土砂災害への対応力強化が図られることから、施策目標への貢献度は高い。	16 点
効 率 性	○事業の費用便益比は2.16であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 2.20億円 ・総便益の現在価値 4.76億円 ○事業費は、残存型枠使用によるトータルコスト削減など、詳細設計の各段階においてコスト削減の検討を行う。	10 点
熟 度	○平成23年度の土砂流出被害から、地元住民の防災意識は高まっており、砂防施設の整備要望もあるなど合意形成がなされている。 ○大館市でも砂防施設の必要性や地元要望について認識しており、合意形成がなされている。	10 点
判 定	ランク ( ● I ○ II ○ III )	87 点
	すべての項目において評価点が高く、住民の生命・財産を保全する上でも有利な事業箇所であり、実施すべきと考える。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
H23年8月の集中豪雨により、当該溪流内では山腹崩壊と溪岸浸食が進み、土砂が下流の市道や住宅に流出した。溪流内には不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨等により土石流が発生する危険性が高く、下流の人家等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。人命及び財産の保全の観点から、必要性及び緊急性は高く、事業実施という1次評価は妥当と判断される。	

4. 財政課長意見

意 見 内 容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該地区は、保全対象として人家6戸、国道・市道があるほか、平成23年度に土砂流出が発生し、現在も不安定土砂が堆積していることから事業実施の優先度は高い。砂防堰堤工において堰堤の設置数や工法を比較し、効果的かつ安価となる設置数、工法を採用するなどコスト削減について検討されており、妥当である。	

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業の実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

計画的な実施に努める。
-------------

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 砂防事業

事業コード (H25-建-新-06 )  
箇所名 (大館市餌釣字柁沢 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	土砂災害に対する情報提供の有無 危険箇所マップ等の公表の有無	有り	5	5	
		無し	0		
	事業の必要性 県関与の必要性	法令等で県が実施する事業	5	5	
		県が実施すべき広域的な事業	3		
		県が実施した方が望ましい事業 県関与の必要性が低い事業	1 0		
	地域住民のニーズ	地域住民のニーズが高い	5	5	
		地域住民のニーズが低い	0		
	流域の整備状況 砂防設備の整備状況	未整備	5	5	
		低い (土砂整備率 30%以下)	2		
		低い (土砂整備率 30%超)	0		
計			20	20	
緊急性	災害実績 過去の災害発生履歴	発生後の経過が 3 年以内	10	10	
		発生後の経過が 10 年以内	5		
		その他	0		
	災害発生の危険度 地形・地質の状況	極めて不良	8	4	
		不良	4		
		良好	0		
	植生の状況	極めて不良	7	7	
		不良	4		
		良好	0		
	河床堆積、溪岸侵食状況	甚だしい	10	10	
比較的安定		5			
安定		0			
計			35	31	
有効性	災害発生時の影響 (被害想定範囲内) 人家戸数	20 戸以上	10	6	
		5 ~ 20 戸未満	6		
		1 戸 ~ 5 戸未満	2		
		0 戸	0		
		重要施設が有る	5		
	災害弱者施設の有無	一般施設が有る	3	0	
		無し	0		
	公共施設等の有無	有り	5	5	
		無し	0		
	施策目標への貢献 土砂災害危険箇所整備率への貢献	危険溪流ランク I	5	5	
危険溪流ランク II		3			
その他		0			
計			25	16	
効率性	費用対効果 B / C	1.0 以上	10	10	
		1.0 未満	0		
		計			
熟度	事業着手の熟度 地元住民との合意形成	合意形成が済んでいる	5	5	
		合意形成がなされる見込みである	3		
		合意形成がなされていない	0		
	関係自治体等との合意形成	合意形成が済んでいる	5	5	
		合意形成がなされていない	0		
		合意形成がなされる見込みである	3		
計			10	10	
<b>合計</b>			<b>100</b>	<b>87</b>	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80 点以上	I	
II	優先度が高い	60 点以上 ~ 80 点未満		
III	優先度が低い	60 点未満		